

感染対策チェック表

R2-619 版

以下内容の確認をお願いします。

1) 人が集まる場の前後も含めた適切な感染予防対策の実施

- 参加時に具合の悪い者は参加していない。
- 過去2週間以内に発熱や感冒症状で受診や服薬等をした者は参加していない。
- 発熱者や具合の悪い者が特定された場合には、接触感染のおそれのある場所や接触した可能性のある者等に対して、適切な感染予防対策を行う。
- 飛沫感染等を防ぐための徹底した対策を行う。
(例えば、「手が届く範囲以上の距離を保つ」、「声を出す機会を最小限にする」、「咳エチケットに準じて声を出す機会が多い場面はマスクを着用させる」など)

2) クラスタ（集団）感染発生リスクの高い状況の回避

- 換気の悪い密閉空間にしないよう、定期的に外気を取り入れる換気を実施する。
- 会場に入る定員をいつもより少なく定め、入退場に時間差を設けるなど工夫し、人を密集させない環境を整備する。
- 大きな発声をさせない環境づくりを行う。(声援などは控える)
- 更衣室やシャワーの利用は短時間とする。(団体の参加者も同様)

3) 感染が発生した場合の参加者への確実な連絡と行政機関による調査への協力

- 参加した者の中に感染者がでた場合には、その他の参加者に対して連絡をとり、症状の確認、場合によっては保健所などの公的機関に連絡がとれる体制を確保する。
- 参加した個人は、保健所などの聞き取りに協力する、また濃厚接触者となった場合には、接触してから2週間を目安に自宅待機の要請が行われる可能性がある。

記入していただいた個人情報、感染発生時の対応以外には使用しません。 コンパルホール